



施策コード	3-5
-------	-----

中心所管課	環境清掃課
関連所管課	企画政策課

第3章	豊かな自然とともに安心して住み続けられるまちづくり -安全・安心-							
基本施策名	5 循環型社会形成							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
リサイクル率	%	18.3	16.5	17.1	21.6	25.0		
蒲郡市温室効果ガス排出量	千t-CO2	544.0 (2017)	519.0 (2019)	495.1 (2020)	516.7	470.8		
住宅用地球温暖化対策設備(一体的導入)導入費補助件数	件	19	29	28	36	50		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 ごみの排出抑制と資源化の推進	サーキュラーエコノミーをまちづくり全体で取り組む「サーキュラーシティ」を目指すことを令和3年11月に表明し、ビジョンの策定及び重点的に取り組む7つの重点分野を定め、令和5年度にはアクションプランを策定した。市内事業者においてもサーキュラーエコノミーを意識した経営、商品の造成など取組みが広まってきている。 また、クリーンセンターに持ち込まれた再利用可能な家具類や日用品などのリサイクルバザールでの販売(再利用)やメルカリショップスへの出品、生ごみの減量・資源化のための生ごみ処理機等設置費補助事業を実施することで、ごみ減量・リサイクルの推進を図った。	サーキュラーシティ実現のため、市域において自立して社会実装するよう事業者の取組みを支援していくとともに、市民、事業者への周知についても継続して実施していく。また、引き続きリサイクルバザール、メルカリショップスの活用及び生ごみ処理機等購入への補助事業を継続するとともに、プラスチック資源循環促進法の施行に基づくプラスチック製品の一括回収の実施に向けて(令和7年度開始予定)、回収方法や再商品化方法等を検討していく。
2 適正なごみ処理の推進	焼却施設については、令和3年度に策定した長寿命化計画に基づき、基幹設備改良工事を着工した。(～令和6年度) 最終処分場については、令和3年度において新最終処分場の候補地選定及び施設整備基本構想を策定したことから、これらに基づき施設整備基本計画を策定した。	焼却施設については、令和4年度に引き続き令和6年度の完了に向けて基幹設備改良工事を進めていく。 最終処分場については、令和11年度当初における新最終処分場の供用開始に向けて、令和5年度の基本設計の策定等をはじめ新最終処分場の整備事業を進めていく。
3 カーボンニュートラルの推進	国が示す地域脱炭素ロードマップ重点施策に沿って、公共施設の省エネ化を推進し、公共施設の約90%のLED化を完了。また、ゼロカーボンドライブの推進のため公用車を順次EV車へシフトするとともに、観光地である竹島水族館横の駐車場にEV用急速充電設備を設置した。	引き続き公共施設の省エネ化、ゼロカーボンドライブを推進するとともに、一般家庭に対する地球温暖化対策設備導入に対する補助や、EV購入に対する補助を行う。また、令和6年度末までに蒲郡市地球温暖化対策実行計画の改定を行い、目標達成に向けた施策を実践していく。
4 新エネルギーの導入促進と環境負荷の軽減	令和4年度はおおつか児童館とかたはら児童館に太陽光発電システムと蓄電池を設置した。	新エネルギー導入として、太陽光発電システムを自治体の設置可能な建築物又は土地に、2030年までに50%、2040年までに100%の導入を目指す。

個別計画の目標指標								
計画名	蒲郡市一般廃棄物ごみ処理基本計画(改訂版)			計画期間	令和2年度～令和10年度			
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
リサイクル率	%	18.3	16.5	17.1			21.6	25

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4決算額	R5(予算額)		
		人工			
1	サーキュラーシティ推進事業	16,995	25,200	アクションプランの作成	実証実験プロジェクトの実施 セミナー等の開催 サステナビリティレポートの作成
		0.3			
2	クリーンセンター基幹改良工事	390,060	1,082,400	基幹設備改良工事の着工	令和6年度までの3年間での長寿命化工事の実施により、完了後最低10年間の稼働を可能とする。
2	新最終処分場整備事業	17,732	82,379	施設整備基本計画の策定	令和11年度当初の供用開始に向け整備事業を進めていく。
3	環境ニュースの発行	0	0	月1回発行	カーボンニュートラルに関する情報を発信していく
4	太陽光発電設備等設置工事	11,671	8,500	おおつか児童館 かたはら児童館	しおつ児童館を直接工事にて実施。その他公共施設に対し民間提案制度を活用した提案を実施
4	住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金	6,808	10,750	補助件数116件	住民のニーズを確認し、必要であれば増額する。

総括評価	成果	カーボンニュートラル推進のため公共施設の省エネ化についてLED化率89%を達成した。また、再生可能エネルギー導入については、おおつか児童館とかたはら児童館に太陽光発電システムと蓄電池を設置した。一般家庭に対して住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金を交付し、カーボンニュートラルを推進した。焼却施設については延命化、最終処分場については新施設整備に向けた事業を推進した。
	課題	カーボンニュートラル推進のため事業所への働きかけについて検討が必要。リサイクル率については新型コロナウイルス感染症の影響による集団回収量の大幅な落ち込みなどにより伸び悩みとなっている。
	今後の方向	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)及び(事務事業編)改定のための基礎調査を実施し、問題点を洗い出し、カーボンニュートラル実現のための施策を検討する。また、ごみ排出抑制と資源化の推進のための分別の拡充や啓発活動を行うとともに、廃棄物の適正処理が継続できるよう処理施設の整備を行う。あわせて、サーキュラーエコノミーを推進し、廃棄物が極力出ない地域づくりを推進し、本市に関わるすべての人々にウェルビーイング(身体的・精神的・社会的な幸福)の向上を目指して取り組みを進める。